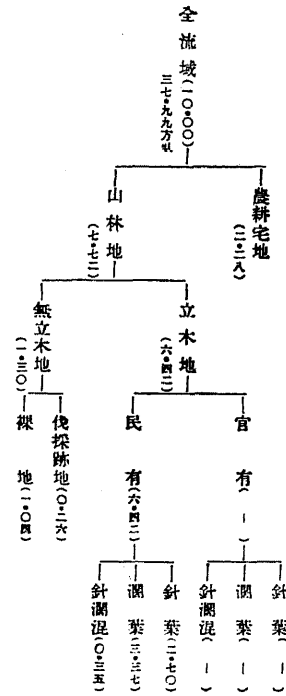


新井田川流域林野状態一覽表

括弧内ノ数字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ

(河口ヨリ上流部)



シ松、栗、檜、雜木、白樺等ヲ主トス。降水量ハ伊保内ニ於ケル觀測ニヨレハ調査期間平均年量一、一五五耗ニシテ九月最多ク一九二耗ヲ算シ日最多ハ同月ニ起リ九〇耗ナリ降水日數ハ年二〇一日ヲ數ヘ十二月ノ二六日最多ク氣温ハ年平均八九度ニシテ月中ノ最高ハ八月ノ二二度、日最高ハ同月ニ起リテ三九度ニ昇リ最低ハ一月(一)一九六度ナリ蒸發量ハ七一七耗ニシテ六月最多ク一、二月最少シ

二、河川狀況 中流部ハ勾配稍急ニシテ兩岸山勢感マリ河床岩盤ヲ見ントモ他ノ部分ハ上流部下流部トモニ勾配緩ニシテ兩岸展開シ河床ハ殆ト砂礫ヨリ成ル、本川ニハ測水所ノ設ナキヲ以テ流量ノ變化ヲ知ルニ由ナキモ森林狀態、地質及降水量等ヨリ推定セハ馬淵川ト大差ナカルヘシ

但シ上流部ニハ田地多ク用水堰數多アルヲ以テ夏期灌溉期ニハ馬淵川ヨリモ更ニ流量ヲ減スルカ如シ結水流水ノ狀態其ノ他馬淵川ト大同小異ナリ

三、水利及治水 瀬月内川ハ晴山村ヨリ上流部、雪谷川ハ輕米附近ニ廣キ耕地アリテ灌溉用水ノ引用セルモノ多シ流水ハ各川トモニ行ハレ瀬月内川ハ用材一〇、〇〇〇尺、枕木一、〇〇〇尺、雪谷川ハ用材三〇、〇〇〇尺、枕木六、〇〇〇尺、ニシテ本流新井田川ハ落合ヨリ下流八戸迄ノ間ニ行ハレ用材九、〇〇〇尺、薪炭材三〇〇〇棚ナリ。治水其ノ他ノ關係ナシ

四、水力地點 本川ハ勾配急ナラサルヲ以テ良好ナル水力地點ニ乏シク既設地點ノ外ハ落合附近ノ屈曲部及ヒ晴山附近ニ少シク落差アルモ本川ハ元來流量少ク且灌溉時ニハ著シク減水スルヲ以テ地點トシテ選定スルニ足ラス

第六章 岩手海岸諸水系

第一節 概 說

茲ニ岩手海岸諸水系ト稱スルハ岩手縣ノ東方ヲ南北ニ

走ル東方山脈即チ北上山脈ト太平洋トノ間ニ介在スル東面ノ諸川ヲ總括シタルモノニシテ其ノ地勢、河況等類似ノ點多キヲ以テ一括シテ記述セントス、海岸水系ニ屬スルモノヲ北方ヨリ列擧スレハ九戸郡内ヲ流ルル有家川、高家川及久慈川、下閉伊郡内ヲ流ルル安家川、小本川及宮古川、上閉伊郡内ヲ流ルル赤柴川、大渡川及氣仙郡内ヲ流ルル今泉川等ニシテ尙此ノ外攝待川、盛川等アレトモ本水系ノ下ニ於テ敘述スル事項ハ之ヲ是等諸川ニモ適用シ得ヘシ

上記ノ河川ハ何レモ源ヲ北上山脈ノ東側ニ發シ東流シテ太平洋ニ注ク但シ今泉川ノミハ南流ス。北上山脈ト太平洋岸トハ其ノ間隔狭ク最廣キ處モ一四里ヲ出テ最狭キ處ハ僅ニ六里ニ足ラス從ツテ流路ノ大ナル河川少ク宮古川ノ二四里、小本川ノ一四里、今泉川、久慈川ノ一〇里内外ナルヲ稍長大ナルモノトシ他ハ延長五、六里ニ過キス而シテ北上山脈ノ支脈ハ東ニ延ヒ海岸部ヲ幾多ノ小區域ニ分ツヲ以テ河川ノ流域ハ自ラ幅員ヲ限ラレ流域面積ノ大ナルモノナク宮古川ノ六一方里ヲ最大トシ小本川ノ四七方里之ニ次キ久慈川、今泉川ハ三三方里及三五方里ニシテ他ハ一〇方里内外ナリ唯是等河川ハ二千米ニ近キ早池峯山ヲ中心トシテ千米以上ノ標高ヲ保テル山嶺ヨリ短距離ノ

間ニ海岸ニ向ツテ流下スルカ故ニ地勢自ラ峻峻ニシテ河川ハ勾配甚タ急ニシテ落差ニ富メリ。本地方ハ從來交通ノ便開ケサリシヲ以テ山林ハ幸ニ伐採セラルルコト少ク樹林多ク殊ニ北上山脈ノ山嶺附近ニハ廣大ナル國有林ノ園地アリテ百年以上ヲ經タル大樹鬱蒼トシテ繁茂シ森林狀態良好ナリ。降水量ハ概シテ寡少ニシテ赤柴川ノ上流附近年量二、〇〇〇耗ヲ出ツルアレトモ其ノ他ハ大抵千四百耗内外ニシテ小本川以北ノ河川ハ降水量更ニ少シ。地質ハ多クハ古生層ニ花崗岩ヲ混ヘ雨水ヲ保留スルニ適セス從ツテ流域一方里當流量ノ如キモ小量ニシテ湧水量ハ四個乃至六箇ニ過キス、赤柴川、今泉川ノ九個ハ降水量多キト地質ノ關係ニヨルモノニテ例外トス、而シテ平水量ト湧水量トノ比ハ二三ニシテ最大流量ト湧水量トノ比ハ八〇前後ナルモ一四五倍ニ達シタルコトアリ。出水ハ春秋二季ニ起ルヲ常トス冬季積雪大ナラサル故春季融雪増水ハ西部地方ニ比シテ著シカラサルモ猶四、五月ノ候氣温ノ上昇ニ降雨ヲ伴フ時ハ秋季ニ劣ラサル増水ヲ見ルコトアリ。本區域内河川ノ兩岸ハ山勢盛マリ平地少キヲ以テ灌溉用水ノ關係少ク流水ハ各河川トモ行ハルレトモ是亦多量ナラス、サレハ水力利用ノ見地ヨリセハ多少流量ノ少キ憾ア

ルモ落差多キヲ以テ將來交通ノ便開ケハ之カ開發ヲ見ルコト遠カラサルヘシ、海岸部ニ於ケル河川中最良好ナル地點ニ富ムハ宮古川ニシテ小本川之ニ次キ久慈、安家、赤柴ノ諸川ハ其ノ後位ニアリ是等各河川ニ就テハ次節以下ニ詳述セン

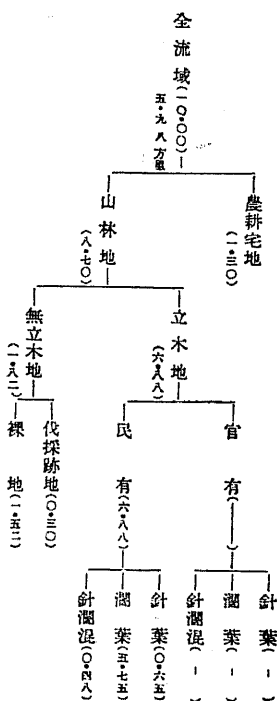
第二節 有家川水系

一、流域 本川ハ九戸郡ノ北部ニアリ西南、松ノ木平ヨリ發シテ北流スル大野川ト西北、姫森ヨリ發スル白鳥澤トハ明戸ニ合シテ本流有家川ヲナシ東流シテ下權谷ヲ經、中野ニ至リ小澤ヲ合セ有家ヲ經テ太平洋ニ注ク流路約六里、其ノ流域ハ大野村、中野村ノ一部及輕米村ノ一部ヲ占メ面積約六方里アリ。流域ハ上流ニ於テ廣ク下流ニ於テ狭キモ全體トシテハ東西ニ狹長ナリ。流域内高山トシテ見ルヘキモノナク概ネ高臺ノ連亘ニシテ起伏モ從ツテ單調ナリ。地勢ハ西ヨリ東ニ向ツテ傾斜シ地質ハ殆ト全部花崗岩ヨリ成リ中ニ僅少ノ古生層ヲ含ム

林野ハ全部民有林ニシテ矮小ナル濶葉樹林多ク權谷附近ヨリ大野ニ至ル間ハ多少ノ密生箇所アルモ其ノ他ハ概ネ粗林ナリ、針葉樹ハ各所ニ點在シ濶葉樹林ノ一割餘ニ相

有家川流域林野狀態一覽表 (河口ヨリ上流部)

括弧内ノ数字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



當ス。樹種ハ松、栗、檜其ノ他雜木ナリ。附近ハ産馬地ナルヲ以テ放牧採草地多ク林相粗惡ナリ。氣象狀態ハ之ヲ附近ノ觀測所ニヨリ推定スルニ降水量ハ少クシテ年量一、二〇〇耗ニ過キス氣温ハ海岸ニ近キヲ以テ内陸部ノ如ク寒氣強カラス從ツテ冬期降雪積雪ノ量モ多カラス

二、河川狀況 下權谷ヨリ上流部ハ廣濶ナル耕地ノ間ヲ流レ勾配急ナラサレトモ下權谷ヨリ下流部ハ兩岸山勢峻マリ勾配次第ニ急トナリ河口附近ニ於テハ殊ニ急流ヲナス河床ハ礫及玉石ニシテ所々岩盤露出セリ

本川ニハ測水所ナキヲ以テ水位及流量ノ變化ヲ知ルニ由ナキモ地勢上必スヤ南方久慈川ノソレト同様ナラン河川ハ水量少キ時ハ流路整一ナレトモ一朝豪雨ニ際會セハ

濁水全河幅ヲ覆ヒ上流部ニ於テハ往々氾濫スルコトアリ
 極寒時中流部ニ於テ結氷スルコトアルモ甚シカラス
 三、水利及治水 本川上流部ニハ耕地存スレトモ中流以
 下兩岸山勢盛マルヲ以テ耕地ナク從ツテ灌漑用水ノ關係

有家川水力地點表

水量、落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水長路	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
一八五	有家川	一	岩手縣九戸郡中野村 有家熊野澤村	中野郡大粒米村	湍水 * 二八 低水 * 三八 平水 * 五二	* 二四〇	一、〇一二 一、三八五	一五〇〇	五五〇	九六二 八六七	七四六 一、〇〇一	甲
一八六	同	番外一	岩手縣九戸郡中野村 中野大粒米村	中野郡赤野平村	湍水 * 二八 低水 * 三九 平水 * 五四	* 五〇	一五五 二一六 三〇〇	七八〇	五五六	九六一 八六七	一五五 二〇八 二二〇	乙

水力地點ノ説明

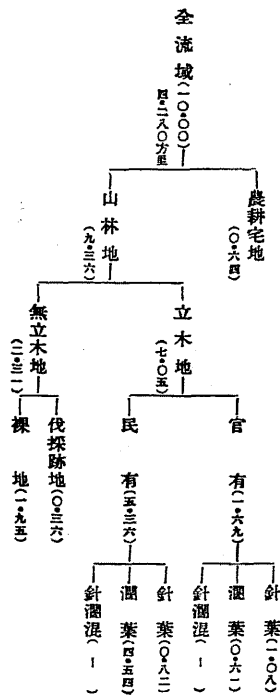
順位一八五 本地點ハ有家橋上流ノ地點ニシテ左岸ニ
 取入レ開渠及隧道ニテ有家橋ノ近クニ導キ放水ス
 順位一八六 本地點ハ前者ノ放水口ノ下流ヨリ左岸ニ
 取入レ河口ニ近ク放水ス

第三節 高家川水系

高家川流域林野状態一覽表

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ

(河口ヨリ上流部)



林野ノ割合ハ民有林五四ニ對シ國有林一七ナリ、國有林ハ本川右岸下流待濱村ニ一林地アリ全部赤松ノ勢力圏ニ屬スルモ人工植林セル所ノ外概シテ粗林ナリ。民有林ハ一般ニ幼齡ノ樹林多ク水源部ハ闊葉樹ニシテ海岸部ニ赴

高家川水力地點表

水量、落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水長路	流域面積	發電率	年平均馬力數	等級
一八七	高家川	番外一	岩手縣九戸郡待濱村 北待濱高家村	北待濱桑畑向	湍水 * 二一 低水 * 二九 平水 * 四〇	* 二二〇	五二三 七〇八 九七七	七〇	四・三	一〇〇〇 九六一 八六七	五二三 六八〇 八四七	甲

水力地點ノ説明

順位一八七 本地點ハ左岸ニ取入レ全部開渠ニテ河口

ニ導キ放水ス

クニ從ヒテ針葉樹林漸次増加ス、流域内比較的伐採セラレタル面積多ク本流域ノ四分ノ一ハ無立木地ニシテ林狀良好ナラス、樹種ハ國有林ニテハ赤松、雜木、民有林ニテハ松、栗、檜其ノ他雜木林ナリ。氣象状態ハ有家川ト大差ナシ
 二、河川狀況 阿古木ヨリ上流部ハ比較的開展セル耕地ノ間ヲ流レ河川勾配急ナラサレトモ高家以下河口ニ至ル間ハ頗ル激流ヲナス河床ノ状態及流量變化等有家川ト大差ナシ

三、水利及治水 有家川ト殆ト同シ

四、水力地點 本川中水力利用ノ見込アル範圍ハ高家ヨリ下流河口ニ至ル十數町ノ間ナルカ其ノ落差約二二〇尺ナリ

第四節 久慈川水系

一、流域 久慈川水系ハ岩手縣東北海岸部ニアリ本流久慈川及支流長内川ハ共ニ河口附近ニテ相合シ久慈灣ニ注ク流域ノ形狀開扇狀ナリ。本流久慈川ハ九戸郡ノ中央ニ聳ユル遠別山ニ源ヲ發シ北流シテ宇沼袋ニ至リ西方明神岳ヨリ發スル川井川ヲ合セ方向ヲ東ニトリ左岸ニ日野澤川、戸呂町及岩井ノ諸流ヲ入レ大川目村山口ニ至リ山間部ヲ脱シ久慈町ニ於テ長内川ト合流シ久慈灣ニ注ク久慈町ヨリ上流本川ノ流域面積約二一万里アリ九戸郡山形村、久慈町ノ殆ト全部ト大川目村ノ大部ヲ占メ西ヨリ東ニ向ヒテ傾斜ス

支流長内川ハ天神森ニ發源シ北流スルコト約四里左岸ニ支流小國川ヲ入レ、大川目村大字瀧ヲ經長内村字川代ニ至リ山間部ヲ脱シ約一里半ニテ久慈川ニ合ス流域ハ山根村、長内村ノ全部ト山形及大川目兩村ノ一部ヲ含ミ面積一二万里アリ南部ヨリ北部ニ向ツテ傾斜シ山勢急ナリ

兩川トモ上流部ニ僅少ナル平地ヲ存スレトモ中流部ハ山岳岸ニ逼リ狹深ナル溪谷ヲ鑿テ下流地方ニハ稍廣キ平地ヲ開展セリ

テ大正八、九、十年ノ三箇年平均年量一、二七〇耗長内川上流山根ニテ大正八、十年ノ二箇年平均年量一、四八七耗下流久慈ハ大正八年一、四〇〇耗ニシテ月量ノ最多キハ各所トモ九月ニシテ日最多ハ八月ニ起リ百耗ヲ超ユ、降水日數ハ一四〇日内外ニシテ年平均溫度ハ久慈ニテ一〇四度、月最高ハ八月二三・二度ヲ示シ日最高ハ三五度ニ達ス月最低ハ二月ニシテ(一)一七度日最低ハ(一)一五度ナリ

二、河川狀況 久慈川本流ニ於テハ水源ヨリ沼袋ニ至ル間河岸稍展開スレトモ沼袋以下山口ニ至ル間ハ山勢急峻ニシテ流路ノ兩岸屏立シ河幅狹小ナリ河床ノ勾配ハ上流部ハ比較的緩ニシテ沼袋以下山口ニ至ル中流部最急ニシテ約七〇分ノ一ナリ河床ハ到ル處岩盤露出シ大ナル玉石ヲ存スル箇所多ク水流激スル所奔湍深淵ヲナシ十數尺ニ達スル飛瀑少カラズ鱗瀧及大瀧ハ其ノ大ナルモノナリ。山口ヨリ下流ハ河幅擴大シ各所ニ砂洲ヲ作り出水ノ都度流路ヲ異ニス

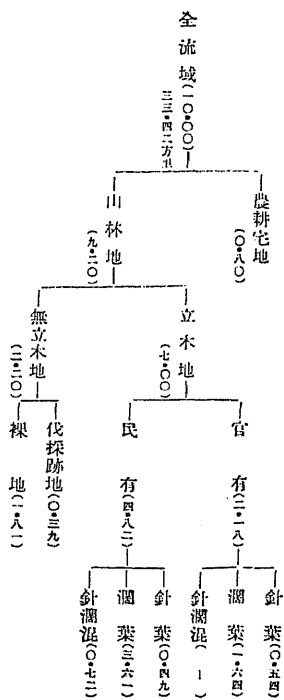
長内川ハ下戸鎮ヨリ瀧ニ至ル迄屈曲多ク勾配急ニシテ大瀧小瀧等激瀨相連リ約七分ノ一ノ勾配アリ瀧ヨリ下流ハ斷崖絶壁ノ間ヲ長内村字川代ニ至リ河床概ネ岩盤ニシテ所々ニ轉石アリ且巨岩起伏ス、川代ヨリ以下河幅廣ク

地質ハ上流大部分古生層ニシテ下流ニ行クニ從ヒ第三紀層現ハレ最下流久慈地方ハ河川ニ沿ヒ第四紀層ヲ見ル

久慈川流域林野狀態一覽表

(河口ヨリ上流部)

括弧内ノ数字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



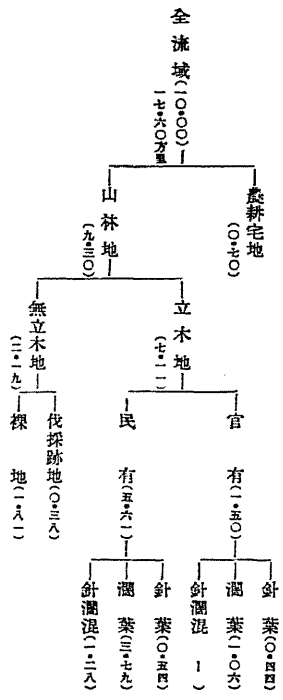
林野ノ狀態ハ右表ノ如クナルカ國有林ハ久慈川支流遠別川ノ上流ヨリ長内川上流ニ連亘セル大林地及川井村沼袋附近ナル天狗森國有林ヨリ成リ海岸附近ハ赤松ヲ主トシ後方地帯ハ山毛櫸、檜、樺多ク其ノ他ノ地方ハ檜、栗等ノ闊葉樹林ニシテ天然生育ニ任セ來リタルモノ多シ。民有林ハ海岸地方ハ針葉樹多ク奥部ニ進ムニ從ヒ闊葉樹ノ占有スル處トナル、林況良好ナルハ峯通り及澤沿ヒノ地ニシテ其ノ他ハ薪炭用材トシテ伐採セラレタル箇所多キ爲概ネ粗林ナリ。共有、民有林トモ僅少ノ植林箇所アルモ主ニ松、栗、檜、杉、雜木等ノ矮林ナリ。降水量ハ久慈川上流山形ニ於

河床ハ殆ト砂礫ニシテ河床ノ缺潰セルヲ見ル。本川ノ測水所ハ久慈町ニ設ケタルカ既往三箇年間ノ變化ヲ見ルニ日々ノ増減概シテ著カラス毎年出水ヲ見ルハ三、四月融雪ノ候、八月及九月下旬十月月上旬頃ニシテ水量ノ減少スルハ冬期一、二月ノ候ト夏期五、六、七ノ三箇月間トス濁水量ハ流域一方里當五個ニ過キス最大流量ト濁水量トノ比ハ六五ナリ山間部ハ濁水ヨリ平水ニ至ルマテ流路整一ナレトモ平坦部ハ出水ノ際河流ノ移動甚シ

久慈川流域林野狀態一覽表

(久慈濁水所ヨリ上流部)

括弧内ノ数字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



三、水利及治水 上流及中流部ニハ兩岸耕地ナキヲ以テ灌溉排水等ノ關係ナキモ下流部ニ於テハ山口及生出ニ於テ夏期灌溉用水三〇個ヲ引用ス、流木ハ夏期六月ヨリ十月迄ノ間ニ行ハレ數量一五、〇〇〇石ナリ、既設發電所一アリ

九戸水力電氣株式會社ノ企畫ニ屬ス

四、水力地點 本水系中利用シ得ヘキ範圍ハ久慈川ニアリテハ沼袋ヨリ山口ニ至ル間延長四里ニシテ落差七百餘尺ヲ得ヘク、長内川ニアリテハ山根村字遠川ヨリ下流川代

迄ノ屈曲部ヲ利用スルヲ得ヘク此ノ延長二里半落差四百餘尺アリ。久慈川ニ沿ヒテハ郡道開通セラレアルモ頽廢甚シク長内川ニハ僅ニ人馬ノ交通スル徑路アルノミ

久慈川 流量 表

平均ニハ大正十一年ヲ含マス
流量ニハ()ヲ附セルハ用水ヲ加算セルモノナリ

順位	舊順位	河川	測水所	面積	年次				流量				流域一方里當流量						
					最大	平水	低水	湯水	最小	最大	平水	低水	湯水	最小					
五六		久慈川	岩手縣九戸郡久慈町 長久寺 新井田	一七六〇	大正八年 (四三〇〇〇)	大正九年 (五二二〇〇)	大正十年 (五二二〇〇)	大正十一年 (五二二〇〇)	平均 (四三〇〇〇)	一 (一七五)	一 (一七五)	一 (一七五)	一 (一七五)	一 (一七五)	一 (一七五)	一 (一七五)	一 (一七五)	一 (一七五)	一 (一七五)

久慈川 水力地點表 順位ニ()ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	面積	能發電率	馬力數	等級
一八八	遠川別井川	番外二	岩手縣九戸郡山形村 沼袋	同郡山形村 沼袋日野澤川落合	湯水 二七 低水 三七 平水 五一	一七五	五二四 七一九 九九一	一七四〇	五三七	一〇〇〇	六九二	甲
一八九	久慈川	番外一	岩手縣九戸郡山形村 沼袋 日野澤川落合	同郡大川目村 上大川目 戸呂町川落合	湯水 四八 低水 六七 平水 九二	一六二	八六三 一一〇五 一、六五四	一五〇〇	九六六	一〇〇〇	一一五八	甲

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	面積	能發電率	馬力數	等級
一九〇	同	下	岩手縣九戸郡大川目村 上大川目 戸呂町川落合	同郡大川目村 上大川目 深山川落合	湯水 六三 低水 八七 平水 一一九	一五七	一、〇九八 一、五一六 二、〇七四	一一〇〇	二、二五五	一〇〇〇	一四七	甲
(一九一)	同	二	岩手縣九戸郡大川目村 上大川目 深山川落合	同郡大川目村 上大川目 深山川落合	湯水 七二 低水 一〇〇 平水 一三七	一一一	九六七 一、三四三 一、八四〇	一九〇	一、四四三	一〇〇〇	一二九	甲
一九二	長内川 (交流小國川ヲ含ム)	番外三	岩手縣九戸郡山根村 遠川	同郡大川目村 深川	湯水 四一 低水 五六 平水 七八	二一五	九七八 一、三三六 一、八六一	一八六〇	八二八	一〇〇〇	一六三	甲
一九三	同	三	岩手縣九戸郡大川目村 深川	同郡長内村 小久慈 白山向	湯水 四三 低水 五九 平水 八二	一一五	五九七 八一九 一、一三八	一五〇〇	八五八	一〇〇〇	一五七	甲

水力地點ノ説明

順位一八八 本地點ハ沼袋ニ於テ遠別川及川井川ノ水ヲ左岸ニ引入レ隧道ニヨリテ日野澤川落合ニ導キ放水ス

順位一八九 日野澤川合流ヨリ左岸ニ引入レ全部隧道ニテ導水シ戸呂町川合流點附近ニ於テ發電ス

順位一九〇 戸呂町川合流後右岸ニ引入レ全部隧道ニテ澤山川落合ノ上流ニ於テ放水ス

順位一九一 本地點ハ澤山川合流點ヨリ左岸ニ取入レ

レトモ大正十年九戸水力電氣株式會社ハ本地點ノ中間ニテ落差最多キ部分ヲ選ミ工事ヲ完成シ送電ヲ開始セシヲ以テ本地點ハ三段ニ區分セララルコトナレリ即チ澤山川ヨリ九戸水電取入口マテ總落差四三尺同水電放水口ヨリ齋巢豫定放水口マテ四五尺及前記九戸水電地點落差六〇尺トナリ

順位一九二 本地點ハ遠川ヨリ左岸ニ引水シ隧道及開渠ニテ瀧ニ至リ支流小國川ノ水ヲ併セ本流ニ放水ス

隧道ニテ齋巢ニ導キ放水スル時ハ殆ト全落差ヲ利用シ得

順位一九三 瀧放水後右岸ニ取入レ隧道ト開渠ニテ白

安家川水力地點表

落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	瓦水長路	面流域	能發電	年平均馬力數	等級
一九四	安家川	番外一	岩手縣下閉伊郡安家村 高屋敷	同 郡 松安家林村	湍水 二八 低水 四七 平水 六五	二四一	七四九 一、二五七 一、七三九	一、二九〇	六〇八	一〇〇〇 九五〇 八七二	七四九 一、二九四 一、五二六	甲
一九五	同	一	岩手縣下閉伊郡安家村 元安村	同 郡 川安家村	湍水 五二 低水 九二 平水 一二三	一八四	一、〇六二 一、八八〇 二、五二二	一、二四〇	一一三二	一〇〇〇 九五〇 八七二	一〇六二 一、七八六 二、二九〇	甲
一九六	同	二	岩手縣下閉伊郡安家村 川口	同 郡 茂安家井村	湍水 六〇 低水 一〇四 平水 一三九	二七〇	一、七九八 三、一一七 四、一六六	一一二〇	一一一五	一〇〇〇 九五〇 八七二	一七九八 二、九六二 三、六三三	甲
一九七	同	三	岩手縣下閉伊郡安家村 茂安井	同 郡 内安家川村	湍水 六四 低水 一一〇 平水 一四七	*二七六	一、九六一 三、三七〇 四、五〇三	二二六	三九一	一〇〇〇 九五〇 八七二	一九六一 三、〇二二 三、九七〇	甲

水力地點ノ説明

順位一九四 本地點ハ燃壁澤落合ヨリ右岸ニ取入レ隧道及開渠ニテ松林ニ導キ放水ス

順位一九五 尻高澤落合ノ下ニテ取入レ右岸ヲ開渠及隧道ニテ彎曲部ヲ貫キ字川口ノ下流ニテ發電ス

順位一九六 年々澤ノ落合附近ヨリ右岸ニ取入レ「ツボ」

澤合流附近ニテ發電ス水路ハ全部隧道トス

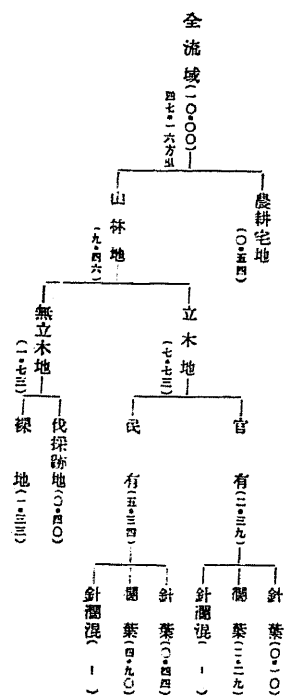
順位一九七 「オタライ」澤落合ヨリ右岸ニ取入レ隧道及開渠ニテ導水シ字内川ノ下流ニ於テ放水ス

第六節 小本川水系

一流域 本水系ハ下閉伊郡ノ北部ニアリ上流ハ本流小

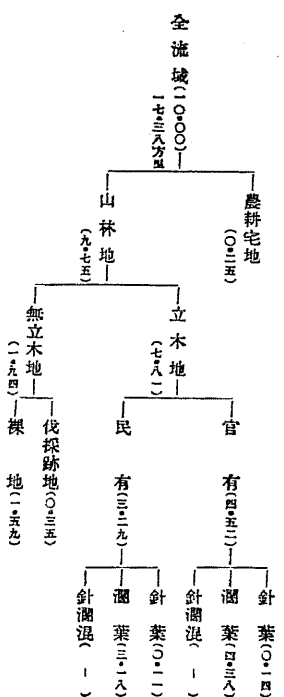
川及支流大川ノ二川ヨリ成ル、小川ハ源ヲ九戸、下閉伊兩郡ノ界ナル國境峠ヨリ發シ見内川、三田貝川等ノ小支流ヲ入レ落合ニ來リ大川ハ源ヲ下閉伊、岩手ノ郡界ニ跨ル御大堂山(一、一九六米阿部館山(二、二一八米及高森(二、二二〇米)ニ發シテ東流シ大川村字川崎ニテ南方ヨリ來ル小支流ヲ入レテ同シク落合ニ來リ茲ニ小川ト合シテ小本川トナル、兩川合流後ハ水量頓ニ増加スルト共ニ大ナル屈曲ヲ畫キ東流スルコト約八里小本村ニテ太平洋ニ注ク、其ノ流域ハ下閉伊郡ノ大半ヲ占メ總面積四七方里、落合ヨリ上流小川ニ屬スル分約一五方里、大川ニ屬スル分約一七方里ナリ。地勢西北、南ノ三方ニ山岳連亘屹立シ東方ニ展開シ上流及中流ニ廣ク下流ニ至ルニ從ヒ緊縮シ西南ニ稍伸ブ。地質ハ大

小本川流域林野狀態一覽表 (括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ)



部古生層ニ屬シ小川筋ニ諸所第三紀層現ハレ大川筋瀧鳴附近ニ閃綠岩露出シ海岸附近ハ花崗石玢岩ニ富メリ

大川流域林野狀態一覽表 (括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ)



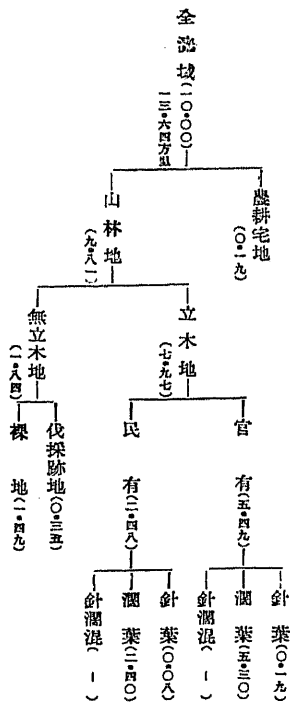
小本川流域林野狀態一覽表 (括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ)

林野ノ内國有林ハ大川ノ上流ニ一大林地アリ小川ニアリテハ支流見内川ノ上流ニ權現山國有林アリ下流部ニ夏

小本川流域林野状態一覽表

(大川測水所ヨリ上流部)

括弧内ノ数字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



節ノ國有林及鉢神國有林ノ一部アリテ林相一般ニ良好ナリ海岸方面ノ林地ハ西部ノ林地ニ比シ壯齡林多ク生長速ナリ、樹種ハ山毛櫸、檜、イタヤ、赤松、雜木等ヲトス。民有林ハ伐採セラレタル面積多ク國有林ニ比シ遙ニ遜色アリ、檜、栗、榎、イタヤ等ノ幼齡雜木林多ク主ニ薪炭用ニ充テラル。此ノ外共有林ハ各所ニ點在シ居ルモ植林トシテハ未タ見ル可キモノナシ

本流域内氣象ヲ見ルニ大正八、九、十、三箇年ノ平均年降水量ハ釜津田一、一三二耗小川一、一七〇耗岩泉ハ稍多量ニシテ一、五六七耗内外ナリ降水量ノ多キハ九、十月ニシテ岩泉二五〇耗内外、其ノ最少キハ一、二月ニシテ同所七〇耗内外ナリ年平均氣温ハ岩泉ニテ攝氏一一度月平均ノ最高キハ

テハ寧ロ夏期ニ甚シ、流域一方里當湯水量ハ大川五三、個、二、砵石四二個ニシテ低水、平水共ニ小本川ハ大川ヨリモ少量ナリ之レ大川筋ニテハ灌溉用水ナキニ反シ小川筋ニ於テ

小本川流量表

平均ニハ大正十一年ヲ含マス

順位	舊順位	河川	測水所	面積	年次				流域一方里當流量										
					最大	平水	低水	湯水	最小	最大	平水	低水	湯水	最小					
五八	一	小本川	岩手縣下閉伊郡岩泉村 二升石 西野	三二六	大正八年 六二八〇	大正九年 八八六〇	大正十年 八〇九〇	大正十一年 四九八〇	平均 三三二	大正八年 一九八	大正九年 二四九	大正十年 二七九	大正十一年 二七六	平均 二四二	最大 一九二	平水 八三	低水 六二	湯水 四四	最小 二四
五九	一	大川	岩手縣下閉伊郡大川村 大川下町	二六四	大正八年 二二六〇	大正九年 八二二〇	大正十年 四九七〇	大正十一年 二二四〇	平均 二一六	大正八年 一八七	大正九年 二二五	大正十年 二二二	大正十一年 二二五	平均 二一五	最大 二一八	平水 九〇	低水 六五	湯水 四〇	最小 三六

三、水利及治水 大川筋ニハ殆ト水田ナキモ小本川筋ニハ僅少ノ水田アリ落合ヨリ上流ニアリテハ澤口堰、中家堰及一ツ苗代堰稍大ニシテ何レモ六個内外ノ水ヲ引用ス落合ヨリ下流ニアリテハ長尾堰アリ六、七個ノ水ヲ使用ス、水車ハ小本川筋字門ニ於テ二箇所、穴澤ニ於テ一箇所アリ何

七、八月ニシテ岩泉ニ於テ二三度日最高ハ三五五度ニ上リ最低キハ一、二月ノ候ニシテ兩月トモ(一)〇四度日最低ハ(一)一二度ナリ。釜津田ハ岩泉ニ比シ數度低シ。下流岩泉附近宇靈羅山下清水川河畔ニ湧水アリ石灰岩質ノ洞穴ヨリ湧出シ四時湧スルコトナシ

二、河川狀況 小川ノ上流部ハ門ノ附近及落合ヨリ上流約三里ノ間頗ル急ニシテ勾配五七分ノ一ヲ保チ大川亦頗ル急ニシテ岩ノ渡以下平均七五分ノ一ノ勾配ヲ有シ到ル處奔湍激流アリ飛瀑少カラズ、就中大ナルハ瀧鳴地内ニ於ケル七瀧及大瀧ニシテ七瀧ノ如キハ優ニ三〇尺ニ達シ壯觀ヲ極ム兩岸ハ山岳相蹙マリ河床ニハ巨岩轉在セリ、落合ヨリ下流岩泉ニ至ル約二里ノ間ハ水流激スルモノアレトモ岩泉ヨリ下流ハ著シク緩流トナル、本流筋ニテハ大川合流後二砵石ニ測水所アリ。大川ニハ大川測水所アリ、兩所測定ノ結果ニヨレハ水位及流量ノ増減變化頗ル著シク出水ノ大ナルハ四、五月融雪ノ候ト八月初旬及九月十月ノ候ニシテ最高水位ト最低水位トノ差小本川ニテハ八三尺大川ニテハ六四尺ニ達シ最大流量ト湯水量トノ比ハ六〇前後ナリ湯水ハ夏期ハ七月ニ起リ冬期ハ二月最甚シク一月及三月之ニ次ク湯水ノ程度ハ大川ハ冬期ニ甚シキモ二砵石ニ

ハ夏期ニ多少ノ用水アルト森林狀態大川ニ比シテ良好ナラサルトニヨルナラン。兩川トモ冬季ニ於テハ二月中河水結氷ス

レモ使用水量五六個ニシテ製材又ハ精米ニ使用セリ、流村ハ小本川ニアリテハ權現ヨリ小本ニ至ル一五里ノ間大川ニアリテハ釜津田ヨリ小川落合ニ至ル六里ノ間ニ行ハレ主トシテ用材、枕木及薪炭材ヲ管流ス其ノ數量大林區署ノ調査ニ依レハ一五五、〇〇〇石ナリ流下ノ期間ハ六月ヨリ

十月ニ至ル夏期増水期ニ行フヲ以テ水力地點引用水量ニハ加減ヲ要セサルヘシ鮭養殖期ハ保護ノタメ十月十日ヨリ翌年五月十日迄ハ川口ヨリ上流六三〇〇間ノ間流材ヲ禁止ス舟航ハ岩泉ヨリ下流小本ニ至ル間日用物貨ノ運搬ニ充テラルルモ其ノ數多カラズ水力電氣事業トシテハ小川筋字門ニ一箇所及小本川支流清水川ニ一箇所アリ

四、水力地點 本水系中水力利用ノ見込アル區間ハ小本川ニテハ落合以下乙茂ニ至ル四里餘ノ間落差三三〇尺、小川ニテハ岩波ヨリ落合マテ九里ノ間落差二六〇尺アリ、又大何レモ良好ナル地點ナリ。本流小本川ニ沿ヒテハ縣道ヲ通シ材料運搬ノ便アルモ大川筋ニアリテハ大渡ヨリ上流

小本川水力地點表

順位	河川	番地 秘點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水 長路	面流 積域	能發 率電	年平均 馬力數	等級
一九八	小川	五	岩手縣下閉伊郡小川村 變綿一ツ苗代	淺同内郡先大川細村	湯水 三九 低水 八四 平水 一〇六	二二八	二、二二六 二、六八三	二、二六〇	一三〇九	一〇〇〇 九四九	二〇一八 二、三二〇	甲
一九九	小本川	六	岩手縣下閉伊郡大川村 淺内 下栗畑	尼同額郡山岩泉崎村	湯水 一三五 低水 二四〇 平水 三三〇	一二九	一、九三三 四、七二五	二、六四〇	三、三〇五	一〇〇〇 九四九	一、九三三 三、三〇二	甲
二〇〇	同	七	岩手縣下閉伊郡岩泉村 額 松坂	尼同額郡松岩泉本村	湯水 一四一 低水 二五三 平水 三四七	九〇	一、四〇九 二、五二七 三、四六七	一、六三〇	三、三六七	一〇〇〇 九四九	一、四〇九 二、三九八	甲
二〇一	同	八	岩手縣下閉伊郡岩泉村 岩泉 鼠入川	乙同茂郡上岩泉向村	湯水 一六三 低水 二九一 平水 四〇〇	五一	九二二 一、六四七 二、二六四	一、七四〇	三、八八四	一〇〇〇 九四九	一、五三三 一、九四九	甲

大川水力地點表

順位	河川	番地 秘點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	互水 長路	面流 積域	能發 率電	年平均 馬力數	等級
二〇二	大川	九	岩手縣下閉伊郡大川村 釜津田 大板屋	釜同津田郡八大重川澤村	湯水 二八 低水 四五 平水 六五	三五〇	一、〇八八 一、七四八 二、五二五	三、五二〇	五、三六	一〇〇〇 九四九	一、〇八八 一、六六八	甲
二〇三	同	番外一	岩手縣下閉伊郡大川村 釜津田 釜津澤	釜同津田郡大川口村	湯水 三八 低水 六〇 平水 八七	一四三	六〇三 九五二 一、三八一	一、九六〇	七、二五	一〇〇〇 九四九	六三三 九八	甲
二〇四	(外山川ヲ含ム)	一	岩手縣下閉伊郡大川村 釜津田 館(外山)	釜同津田郡外大山川村	湯水 五八 低水 九一 平水 一三三	二一〇	一、三三二 二、一一一 三、一〇〇	一、八〇〇	一〇、八七	一〇〇〇 九四九	一、三三二 二、一〇三	甲
二〇五	同	二	岩手縣下閉伊郡大川村 大川 瀧	大同川郡下大川町向村	湯水 六八 低水 一〇八 平水 一五六	二八四	二、一四四 三、四〇五 四、九一八	二、五八〇	二、二八一	一〇〇〇 九四九	二、一四四 三、二四八	甲
二〇六	同	三	岩手縣下閉伊郡大川村 大川 舞ノ子	淺同内郡下大川代村	湯水 七五 低水 一一九 平水 一七三	二一一	一、七五七 二、七八七 四、〇五二	二、四〇〇	二、四一四	一〇〇〇 九四九	二、二五九 三、四八九	甲
二〇七	同	四	岩手縣下閉伊郡大川村 淺内 下川代	淺同内郡落大川合村	湯水 八七 低水 一三八 平水 二〇〇	一三八	一、三三三 二、一一四 三、〇六四	一、二六〇	一、六三八	一〇〇〇 九四九	一、三三三 二、一〇七	甲

人馬ノ通スル里道アルノミナレハ工事施行ニ當リテハ先ツ道路ノ開鑿ヲ必要トス

水力地點ノ説明

順位一九八 本地點ハ一ツ苗代ヨリ先祖畑ニ至ル間ノ屈折ヲ利用スルモノニシテ一ツ苗代ヨリ左岸ニ取入レ隧道及暗渠ニテ先祖畑ニ至リ放水ス

順位一九九 小川及大川合流後左岸ニ取入レ大部ノ隧道及少許ノ開渠ニテ導水シ尼額字山崎ノ郷社附近ニテ發電ス

順位二〇〇 大澤川流入點ヨリ下流約二〇町餘ノ處ヨリ左岸ニ取入レ隧道ニテ彎曲部ヲ貫キ以下暗渠又ハ隧道ニテ鼠入川合流附近ニ至リ放水ス

順位二〇一 鼠入川合流附近ヨリ取入レ左岸ニ水路ヲ設ケ乙茂上向ニ至リ發電ス水路ハ開渠及隧道トス

順位二〇二 本地點ハ醫者待澤ノ下流ヨリ左岸ニ取入レ暗渠及隧道ニテ八重澤ニ至リ放水ス水路ノ三分ノ二ヲ隧道トシ殘部ヲ暗渠トス

順位二〇三 本川ヲ横切リテ取入堰堤ヲ設ケ左岸ニ取入レ釜澤ヲ水路橋ニテ渡リ後開渠及隧道ニテ澤口ニ至リ發電ス暗渠及隧道全長約一、九六〇間ナリ

順位二〇四 本地點ハ館種倉附近ノ彎曲ヲ利用スルモノニシテ右岸ニ取入レ水路ハ全部隧道トス支流外山川ハ

小國川ヲ入レタル本流ハ迂曲盤旋東流シテ大字茂市ニ至リ刈屋川ヲ入ル

刈屋川ハ北方堺神岳(一、三一九米)ニ發源シ大字和井内字町ニテ安庭澤外一溪流ヲ合セ東南ニ流レ刈屋ニテ倉ノ澤ヲ右岸ニ合セ茂市ニ至リテ宮古川ニ入ル全長六里餘。刈屋川ヲ合セタル本流宮古川ハ更ニ東ニ延ヒ宮古町ニ至リテ宮古灣ニ注ク全長約二四里ナリ、其ノ流域ハ下閉伊郡ノ南半ヲ占メ形狀稜形ヲナシソノ長軸ハ東西ニ延ヒ長サ一四里短軸ハ南北ニ八里ニシテ全面積約六〇方里アリ而シテ川井ヨリ上流本川ニ屬スル面積二、四万方里、小國川ニ屬スル面積一、二五万方里ニシテ刈屋川ハ一、一五万方里アリ、全體ノ地勢ハ西北南ノ三方山高ク東方ニ低下開展シ地質ハ大部分古生層ナレトモ小國川、藥師川水源地ニハ僅少ノ輝綠岩存在シ腹帶、震地附近ニハ玢岩ヲ露出シ川井及腹帶左右岸ニハ花崗岩アリ刈屋川流域和井内ヨリ上流、長澤川流域及宮古附近亦花崗岩存スレトモ河口附近ハ第四紀層ニ屬ス

林野ノ分布ハ國有三、民有七ノ割合ニシテ國有林ハ本流川井字達會部口ヨリ上流一圓及小國川及藥師川ノ上流部ヲ占メ外ニ字田代ニハ六原支部田代放牧地約一三方里ア

外山附近ニテ大川ニ接近シ且百尺高キヲ以テ此ノ落差ヲ利用シ工事用動力ヲ起シ放水シタル水ハ大川ノ水ニ合セ發電ニ供シ得ヘシ

順位二〇五 外山川合流點ノ下流部ニ於テ右岸ニ取入レ全部隧道ニテ下町向ニ導キ放水ス

順位二〇六 寄部川合流ノ上部ヨリ左岸ニ水路ヲ設ケ下川代ニ導キ放水ス水路ハ全部隧道トス

順位二〇七 下川代ニテ取入レ左岸ヲ少許ノ暗渠ト大部ノ隧道ニテ落合ニ導キ發電セシム

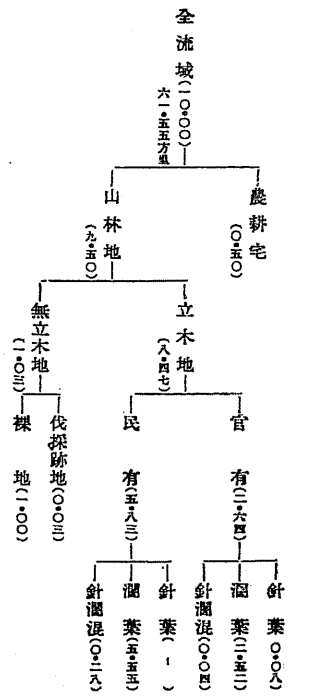
第七節 宮古川水系

一、流域 本水系ハ岩手縣東海岸ノ中央部下閉伊郡ニアリ源ヲ岩手郡界ニ近キ兜明神嶽(一、〇〇七米)ニ發シテ東流シ數多ノ溪流ヲ入レ門馬村門馬ニテ南方早池峯山ヨリ流出スル御山川ヲ合セ東北ニ折レ左曲右折シ川井村大字川内ニ至リテ益屈曲ノ度ヲ強メ川内ヨリ東南ニ流ルルコト約四里大字川井ニ於テ支流小國川ヲ合ス

小國川ハ源ヲ白見山(一、一七三米)ニ發シ北流スルコト約三里字江繁ニ於テ西方早池峯山(一、九一四米)ヨリ發スル藥師川ヲ入レ更ニ北流シ川井ニ至リテ宮古川本流ニ合ス

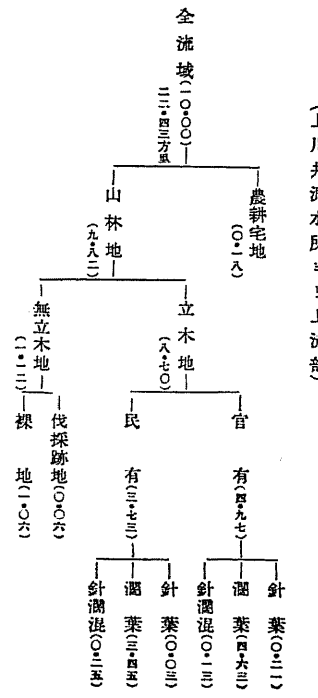
宮古川流域林野狀態一覽表 (河口ヨリ上流部)

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



宮古川流域林野狀態一覽表 (上川井測水所ヨリ上流部)

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ

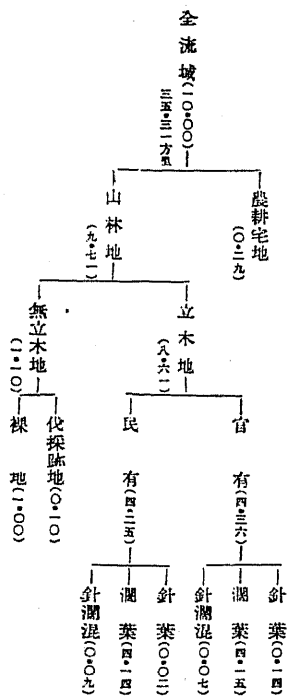


リ是等ヲ除クノ外ハ全部民有林ナルカ國有及民有ヲ通シ樹種ハ山毛櫸、檜、栗、朴、セン等ノ潤葉樹多ク點々針葉樹ヲ混ユ。今林況ニツキ詳述スレハ宮古川筋ノ國有林ハ達會部澤、岩井澤、松草澤ニ老樹多キモ部落ニ近ツクニ從ヒテ漸次

宮古川流域林野状態一覽表

(八木巻測水所ヨリ上流部)

括弧内ノ数字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



伐採セラレ又早池峯山麓ニハ「ヒバ」林ヲ存シ吉部澤、御山川及鞍澤ノ奥部ハ一帶ノ山毛榉林ヲ構成シ古來曾テ斧鉞ヲ入レサル老齡ノ大美林ヲナス松草澤ヨリ上流ノ本流筋ハ噸ニ白樺發生シ跳梁跋扈ノ傾向アリ本流左右岸ニ大面積ノ未立木地各所ニ介在スルハ放牧地及採草地ナリ

小國川、藥師川筋ノ國有林ハ未利用地ニ屬スルヲ以テ右來斧鉞ヲ加ヘサル老齡林鬱蒼トシテ繁茂ス然レトモ近年軌道ヲ敷設シ官行事業ヲ行ヒツツアルヲ以テ逐年伐採量增加スルモノノ如シ

刈屋川流域ハ全部民有林ナレトモ頗ル良好ニシテ殊ニ水源地方ハ檜、山毛榉、栗、朴等ノ闊葉樹鬱蒼繁茂セリ。民有林ハ一般ニ部落ニ近キ左右岸ハ伐採セラレアルモ人家ヲ

蒸發量ハ宮古ノ年量七一六耗、月最多ハ七月ニシテ一〇六耗日最多ハ六月ノ六一耗ナリ。風ハ全年ヲ通シ西風多ク最大風速毎秒三三米ニ達セシユトアリ

二、河川狀況 上流部松草附近及下流部茂市宮古間ハ兩岸少シク開ケタレトモ其ノ他ノ部分ハ兩岸山勢急峻ニシテ屏立スル所多ク河川ノ勾配ハ松草ヨリ下ルニ從ヒ次第ニ急ニシテ大字門馬ヨリ小國川合流點迄九〇分ノ一、小國川合流點ヨリ茂市村大字墓目ニ至ル間約一六〇分ノ一ヲ保テ河床ハ多クハ大岩巨石轉々シ岩盤諸所ニ露出セルモ刈屋川合流以下ハ砂礫ニテ覆ハレ到ル處砂洲ヲ生セリ其ノ多クハ刈屋川ヨリ流出スルモノナリ。本流ニテ利用シ得ヘキ範圍ハ門馬以下墓目ニ至ル約一六里ノ間ニシテ落差千八百餘尺アリ

小國川ハ水源ヨリ江繋ニ至ル間屈曲少ク勾配亦緩ナレトモ藥師川ニ至リテハ山岳重疊ノ間ヲ流レ大畑ヨリ江繋ニ至ル間少シク耕地ヲ存スレトモ其ノ他ハ兩岸斷崖屹立シ岩盤ノ露出スル處尠カラズ藥師川合流以下ハ左右岸ニ局部的ニ展開セル箇所ナキニアラサレトモ大部ハ峻峻ナル山地ニ接續シ河床ハ徑三寸乃至七寸ノ玉石ヨリ成ル。勾配ハ江繋ヨリ上流五三分ノ一下流宮古川合流點マテ一

離レタル奥部ニ至レハ老大树ノ美林ヲ見ル、樹種ハ闊葉樹大部ヲ占メ針葉樹ハ沿岸附近ニ點在スレトモ三ツ石下流ヨリハ其ノ量噸ニ多キヲ加ヘ長澤川流域最良好ナリ。植林ハ全面積ニ比スレハ僅少ナレトモ獎勵セラレツツアレハ將來ハ好果ヲ收ムヘシ

本川流域内田畑ハ三方里餘アリテ麥、大豆、小豆、稗、米、ソバ、馬鈴薯等ヲ産ス

本流域ニ於ケル降水量ハ本流上流部門馬、中流部川井、下流部宮古及支流小國川筋小國ニ於ケル觀測ノ結果ニ依レハ上流ヨリ下流ニ下ルニ從ヒテ漸次増加シ小國川流域ハ本流ヨリモ比較的多シ其ノ程度ハ大正八、九、十、三箇年平均年量門馬ハ一、二、三耗宮古ハ一、七八二耗小國ハ一、六九一耗ナリ而シテ兩岳ノ多キ月ハ八月又ハ九月ニシテ二〇〇耗以上ヲ算シ宮古ニテハ三四〇耗ヲ量リシユトアリ。降水日數ハ本流ハ百六七十日ナレトモ小國川ハ二二六日ニ達シ九、十月ノ候ニ多ク降水ヲ見ル。氣温ハ年平均川井ニ於テ一〇度宮古ニ於テ一一六度、月最高ハ八月ニシテ川井二三度、日最高ハ七月ニ起リ三五五度宮古ハ前者ヨリ五分高ク最低ハ冬季一月ニシテ月平均川井ニテ(一)一五度日最低ハ(一)一六度ナリ宮古ハ川井ニ比シ約二度餘高温ナリ。

一一分ノ一ナリ、利用シ得ヘキ範圍ハ宮古川合流點ヨリ上流約五里ノ間ニシテ落差八五〇尺アリ

刈屋川ハ刈屋ヨリ上流ハ一般ニ兩岸岩壁屹立シ河床ハ所々岩盤ヲ露出スレトモ多クハ四寸乃至一尺ノ玉石ヨリ成リ刈屋ヨリ下流ハ兩岸稍展開シ河床深ク砂礫堆積セリ河川勾配ハ和井内ヨリ上流三九分ノ一和井内ヨリ茂市迄八〇分ノ一ニシテ利用シ得ヘキ範圍ハ刈屋地内中里ヨリ日蔭迄約二里ノ間ナリ

測水所ハ本流中流部川井村ニ二箇所アリ一ハ小國川落合ノ上流上川井ニ設ケ他ハ其ノ下流八木巻ニ設ケタリ兩測水所ニテ實測セシ結果ニヨレハ水位流量トモニ増減甚シク最高水位ト渴水位トノ差ハ上川井ニテ一三五尺、八木巻ニテ一一五尺ニ達シ最大流量ト渴水量トノ比ハ一一〇前後ナリ高水ノ起ルハ四、五月ノ融雪期ト八、九月ノ降雨期ニシテ月流量ノ最大ハ四月又ハ八月ニシテ最小ハ二月ナリ渴水ニ達スルモ二月或ハ三月ニシテ流域一方里當渴水量ハ上川井ニテ五八個八木巻六三個ニシテ平水量ト渴水量トノ比ハ前者ハ二七ニシテ後者ハ二五ナリ即チ八木巻カ上川井ニ比シ流量多キハ比較的水量多キ支流小國川ノ流入スルニ因ル

本支流トモ出水時ノ外流路整一ナレトモ一朝多量ノ降
雨ヲ見シカ山勢急ナルタメ河水俄ニ増加シ且流木ヲ伴ヒ
流下スルヲ以テ本流沿岸ニテハ水害ヲ蒙ルコトアリ然レ
トモ増水速ナル如ク減水モ亦速ナリ。冬季ハ一月初旬ヨ
リ三月上旬マテ河岸結氷シ其ノ厚サ一尺ニ達シ解氷時ニ
ハ流水流雪ヲ見ル

三、水利及治水 本支流トモ兩岸水田ニ乏シキヲ以テ灌
漑又ハ排水等ノ關係ナシ水車ハ秋田木工株式會社川井製

材所ノモノ一アリ規模稍大ニシテ川井村字明神ニ取入レ
字中川井ニテ水車ヲ運轉シテ製材ヲナス水路亘長三六〇
間使用水量三〇個ナリ。流材ハ各川トモニ行ハレ其ノ時
期ハ晩春ヨリ初秋ニ及ヒ用材薪材枕木ヲ取り混セ年數量
二六、〇〇〇石乃至五二、七〇〇石ニ達ス
舟筏ヲ通スルハ暮目ヨリ宮古ニ至ル間ニシテ用材及桐
材ヲ主トシテ年一五房ナリ。許可地點ハ揖斐川電化株式
會社ノ企畫ニカカルモノニアリ

宮古川 流量 表

平均ニハ大正十一年ヲ含マズ

順位	舊順位	河川	測水所	面積	年次				流量				
					最大	平水	低水	最小	最大	平水	低水	最小	
六〇		宮古川	岩手縣下閉伊郡川井村	三、四四	大正八年 六四八〇	二八五	一九四	一〇九	五五	二八九	二二七	八六	四九
			岩手縣下閉伊郡川井村		大正九年 二〇四〇〇	三八六	二一〇	一五〇	一三七	九〇九	一七一	一〇三	六七
			岩手縣下閉伊郡川井村		大正十年 一五五〇〇	三八八	二三四	二二八	二二八	六九二	一七三	一〇四	五八
			岩手縣下閉伊郡川井村		大正十一年 七八二〇	三九五	二四〇	一三七	二二八	三四九	一七二	一〇七	六〇
			岩手縣下閉伊郡川井村		平均 三、五三一	三八五	二四〇	一三〇	二二八	三五九	一五七	九八	五八
六一		同	岩手縣下閉伊郡川井村	三、五三一	大正八年 九一八〇	四九一	三三六	二〇八	一四〇	二六〇	二三九	九二	五九
			岩手縣下閉伊郡川井村		大正九年 三、三九〇〇	六〇一	三九七	二五五	一七五	九六二	一七〇	一一二	六四
			岩手縣下閉伊郡川井村		大正十年 三、五二〇〇	六〇〇	四一〇	二三八	一八三	九九七	一七〇	一一六	六七
			岩手縣下閉伊郡川井村		平均 八八六〇	六四四	四一〇	二九〇	二五九	一五二	一八二	一一八	六二
			平均		五八六	四一〇	二九〇	二五九	二五九	一五二	一八二	一一八	六二

四水力地點

利用シ得ヘキ範圍ハ前ニ述ヘタレハ茲ニ略ス

宮古川水力地點表

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水長路	面積	發電率	年平均馬力數	等級
二〇八	宮古川	七	岩手縣下閉伊郡門馬村	平津戸郡門馬村	湯水 二九 低水 四九 平水 七八	三四五	一、八七六 二、九八六	二五八〇	四九七	一〇〇〇	一、二一一	甲
二〇九	同	一	岩手縣下閉伊郡門馬村	川内郡達會部口	湯水 五七 低水 九六 平水 一五四	三一五	一、九九三 三、三五七 五、三八五	二七六〇	九八三	一〇〇〇	一、九三三	甲
二一〇	同	番外四	岩手縣下閉伊郡川井村	川内郡芳井村	湯水 八一 低水 一三七 平水 二二〇	七三	一、一一〇 一、七八三	一、四四〇	一、四〇三	九四七	一、〇五二	甲
二一一	同	二	岩手縣下閉伊郡川井村	川内郡川井村	湯水 八六 低水 一四五 平水 二二二	一一〇	一、一四六 一、九三一 三、〇九〇	九六〇	一、四七九	一〇〇〇	一、二四六	甲
二一二	同	八	岩手縣下閉伊郡川井村	川内郡上川井村	湯水 一二六 低水 二二二 平水 三四〇	七五	一、〇四九 一、七六五 二、八三一	九六〇	二、二六八	一〇〇〇	一、〇四九	甲
二一三	同	三	岩手縣下閉伊郡川井村	古郡古川井村	湯水 二二二 低水 三七八 平水 五六五	一二六	七、九〇二 五、二八七 三、一〇四	二七〇〇	三、五三一	八四〇	一、〇四九	甲

順位	河川	番地 號點	取 入 口	放 水 口	水 量	落 差	馬 力 數	亘 水 長 路	面 積 積 域	能 發 率 電	年 平 均 馬 力 數	等 級
二二五	同	五	岩手縣下閉伊郡茂市村 茂市市太長根	同 目郡柴野市	平水 八二二 低水 五五〇 湯水 三二四	四〇	三、六五〇 二、四四二 一、四三九	八四〇	五二四〇	八四〇 九四六 一〇〇〇	三〇六六 二二〇〇 一四三九	甲
二二四	宮古川	四	岩手縣下閉伊郡茂市村 腹帶郡腹帶市	同 市郡袋市地村	平水 六一九 低水 四一四 湯水 二四四	七六	五、二二二 三、四九三 二、〇五八	一、五〇〇	三、八六九	八四〇 九四六 一〇〇〇	四、三六六 三、三〇四 二、〇五八	甲

小國川水力地點表

順位	河川	番地 號點	取 入 口	放 水 口	水 量	落 差	馬 力 數	亘 水 長 路	面 積 積 域	能 發 率 電	年 平 均 馬 力 數	等 級
二二六	小國川	番外三	岩手縣下閉伊郡小國村 江繁小橋山	同 郡小久保村	平水 四一五 低水 三〇〇 湯水 一八	四六六	二、三二八 一、五五二 九三一	三、二五〇	二、八三	八四〇 九四六 一〇〇〇	一九五六 一四六八 九三一	甲
二二七	同	六	岩手縣下閉伊郡小國村 江繁堂	同 井郡中川井村	平水 一六八 低水 一一二 湯水 六六	二〇〇	三、七三〇 二、四八六 一、四六五	二、一八〇	一〇四八	八四〇 九四六 一〇〇〇	三、一三三 二、三五二 一、四六五	甲

刈屋川水力地點表 落差ニキヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地 號點	取 入 口	放 水 口	水 量	落 差	馬 力 數	亘 水 長 路	面 積 積 域	能 發 率 電	年 平 均 馬 力 數	等 級
二二八	刈屋川	番外五	岩手縣下閉伊郡刈屋村 刈屋中里	同 屋郡日向村	平水 一一四 低水 七六 湯水 四五	*二二〇	一、五一八 一、〇一一 五九九	一、五〇〇	七二	八四〇 九四六 一〇〇〇	一、二七五 九五七 五九九	甲

順位	同	番外六	岩手縣下閉伊郡刈屋村 刈屋日向村	湯水 六六 低水 一一二 平水 一六八	*一〇〇	七三三 一、二四三 一、八六五	一、五〇〇	一〇四	一〇〇〇 九四六 八四〇	一、五七 一、二七 一、五六七	甲
----	---	-----	---------------------	---------------------------	------	-----------------------	-------	-----	--------------------	-----------------------	---

水力地點ノ説明

順位二〇八 本地點ハ松草ニ取水堰ヲ設ケ殆ト全部隧道ニテ平津戸ニ導水シ發電ス水路ハ左岸ヲ通ス

順位二〇九 本地點ハ吉部澤合流後右岸ニ取入レ達會部口對岸ニテ發電ス水路ハ全部隧道トス

順位二一〇 本地點ハ達會部澤合流後左岸ニ取入レ隧道ニテ芳門ニ導キ放水ス

順位二一一 本地點ハ芳門ニ堰堤ヲ設ケ右岸ニ取入レ明戸柏木ノ彎曲部ヲ貫キ柏木ニテ放水ス水路ハ隧道及開渠相半ス

順位二一二 本地點ハ字岡村ノ下流彎曲部ニ取入堰高サ數尺ノモノヲ設ケ左岸ヲ隧道ニテ上川井ニ導キ放水ス、箱石ノ對岸ニ水路ヲ設クレハ水路亘長稍大トナレトモ落差三〇尺ヲ増加シ得ヘシ

順位二一三 大字下川井字八木巻測水所ノ下流岩盤ヲ基礎トシテ高サ數尺ノ堰堤ヲ設ケ右岸ヨリ巖岩ヲ經テ右田ニ導キ發電ス水路ハ開渠及隧道ヨリ成ルモ開渠ハ隧道

ヨリ稍長シ

順位二一四 本地點ハ腹帶ニテ取入レ左岸ヲ隧道ニテ斐地ニ導水シ發電ス

順位二一五 本地點ハ刈屋川合流後太長根ヨリ柴野ニ至ル屈曲部ヲ約八四〇間ノ隧道ニテ貫キ柴野ニ於テ發電ス水路ハ右岸ニ設ク

順位二一六 本地點ハ藥師川ノ水ヲ取入レ小國川ニ放水ス水路ハ左岸ニ設ケ隧道九六〇間他ハ全部開渠トス

順位二一七 本地點ハ小國川筋ノ屈折ヲ利用ナルモノニシテ堂道ニ取入レ中川井ニテ本流宮古川ニ放水ス

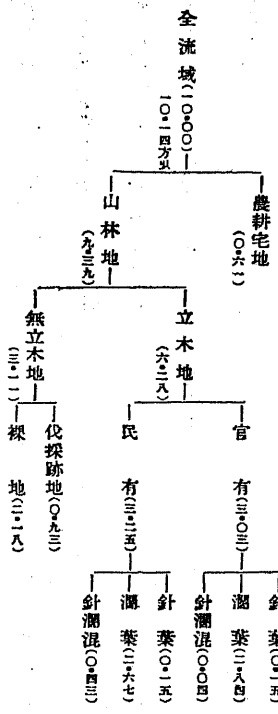
順位二一八、順位二一九 前者ハ稍高キ取水堰ヲ設ケ左岸ニ取入レ大部開渠トシ後者ハ右岸ニ水路ヲ設ケ全部開渠トス

第八節 赤柴川水系

一流域 本川ハ岩手縣上閉伊郡ノ東南部ニ位シ源ヲ界木峠(七二九米)ニ發シ途中數多ノ小支流ヲ容レ東走シ字中

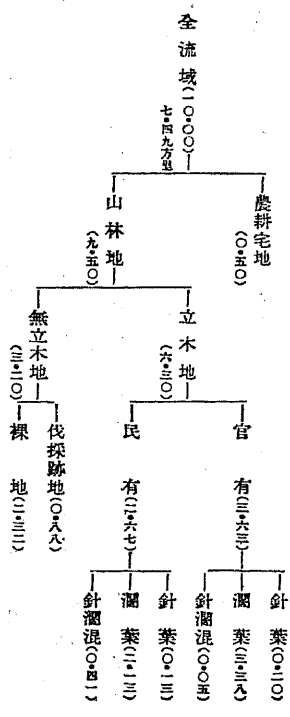
村ニテ雌岳雄岳及權現山ニ發源スル小支流ヲ合シ字澤ニテ大平澤ヲ合セ迂曲シ字澤田ニ出ツ之ヨリ急ニ勾配ヲ失ヒ緩流トナリ曲折東流シテ海ニ注ク。地形ハ上流廣ク下流ニ狹ク其ノ流域ハ栗橋村ノ全部ト鶴住居村ノ大部ヲ占メ面積一〇方里アリ。地勢一般ニ西ヨリ東ニ向ツテ低下シ山勢急峻ヲ極ム地質ハ字萩ノ洞ヨリ上流部ハ花崗岩大部分ヲ占メ一部ニ閃綠岩ヲ見レトモ其ノ他ハ秩父古生層ナリ土壤ハ一般ニ薄ク往々山骨ヲ露出ス

赤柴川流域林野狀態一覽表 括弧内ノ数字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ (河口ヨリ上流部)



流域内林野ノ狀態ヲ見ルニ國有林ハ本川右岸栗橋村大字橋野ヨリ上流ノ一林地及鶴住居村ニ點在セル數箇ノ林地之ニ屬シ又御料林ハ本川上流部ニアリテ民有林中ニ介在ス。國有ノ自然林ハ瀾葉樹林ニシテ檜、栗、山毛櫸等ヲ主

赤柴川流域林野狀態一覽表 括弧内ノ数字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ (澤田測水所ヨリ上流部)



木トシ僅少ノ朴、サハク、ミ、イタヤ等ヲ混ユ、同林中奥部ニハ今尙美林多キモ橋野ニ釜石鑛山分工場アリテ溶鑛鑛用ノ木炭ハ一ニ本國有林ニ其ノ供給ヲ仰クヲ以テ今後十數年ニシテ樹林ノ大部ハ利用シ盡サレントス、御料地ハ林地ト放牧地トニ分タレ面積相伯仲スレトモ其ノ林地タルヤ老樹散生スルノミニテ殆ト見ルヘキモノナク寧ろ荒廢ノ感アリ。民有林ハ大部分伐採セラレ其ノ跡地ニハ年々野火ヲ點スルノ惡習アルヲ以テ水源及、オイカネ、森、犬頭山等廣大ナル草地ト化シ林相一般ニ不良ニシテ字舟能木、中村ノ附近及字萩ノ洞ノ左岸字澤田ノ右岸地方ニ比較的良好ナル壯齡林アルノミ、人工植栽トシテハ杉、檜、赤松、扁柏等ヲ主トスレトモ其ノ區域ハ國有〇・二五方里民有〇・〇五

方里ニ過キス民間ニ於テモ今ヤ森林保護ノ必要ヲ覺知スルニ至リタレハ植林面積モ年ヲ逐フテ増加スヘシ 本川流域内ニ於ケル降水量ハ橋野雨量觀測所ノ調査ニヨレハ本調査期間平均年量二、四四〇耗ヲ算シ降水量ノ最多キハ五月ニシテ六七〇耗ニ達シ最少キハ四月ノ六四耗ナリ而シテ日絶對最多ハ五月ニ起リ二三〇耗トス降水日數ハ年一七五日内外ナル方月別ニテハ五月ノ二四日最多ク、四月ノ七日最少ニシテ一月、二月、三月、七月、十二月ノ一三日之ニ次ク

ニ、河川狀況 字中村ヨリ上流部ハ山勢盛リ勾配頗ル急ニシテ流水ハ殆ト連續的ノ飛瀑トナリテ奔流シ河床多クハ岩盤ヲ露出シ河川勾配一九分ノ一内外ナリ字中村ヨリ橋野ニ至ル間ハ兩岸斷崖屏立シ河床ハ到ル處巨岩累積シ河勢急ニシテ勾配三三分ノ一ヲ保テトモ橋野ヨリ下流澤田ニ至ル間ハ六八分ノ一ナリ而シテ澤田ヨリ下流ハ水勢著シク衰退シ平均勾配二二分ノ一トナリ河幅廣ク河床ニハ徑三、四寸ノ玉石ニ砂礫ヲ混シタル砂洲堆積シ所々亂流セリ

澤田測水所ニ於ケル既往三箇年間ノ調査ニヨレハ河水増減ノ多キハ五月及十月ノ出水期ニシテ四月、八月之ニ次

キ出水ハ四、五、九月下旬及十月ノ候ニ起ルコト多シ湯水位ト高水位トノ差ハ六尺乃至九尺ニシテ流量ノ最湯スルハ三月、六月及七月ニシテ一月、二月、四月、五月、十一月及十二月之ニ次ク流域一方里當湯水量ハ九五個ニシテ平水量ハ湯水量ノ二三倍ニ當リ高水量ハ湯水量ノ約二〇〇倍ニ相當ス本川ハ冬季夏季ノ湯水期ト雖著シク涸渴スルコトナキモ一朝驟雨來レハ山勢急峻且林相疎惡ナルタメ雨水ハ一時ニ河流ニ集リ濁流ハ多クノ流水ヲ齎シテ奔流シ澤田以下ニ於テハ道路及耕地ニ被害ヲ及ホスコトアリ、結氷ハ極寒時流速緩ナル兩岸ニ少シク之ヲ見ルニ過キス

三、水利及治水 灌溉用水路ハ澤田ヨリ上流ニ三箇所アレトモ使用水量ハ孰レモ僅少ニシテ其ノ最小ナルハ三城子堰ノ〇五個次ハ古渡堰ノ四九個ニシテ其ニ橋野附近ヲ灌溉シ第三ハ栗林堰ト稱シ引用水量一二個ニ及ヒ右岸ニ取入レ十數町歩ヲ灌溉シ餘水ハ水車用トス。澤田ヨリ下流ニハ數箇所ノ水車アレトモ使用水量ハ何レモ一個内外ニシテ水力利用ニ關係ヲ有セス。流水ハ中村ヨリ河口ニ至ル間ニ行ハルルモ年量四〇〇石ヲ上下シ四、五、七、八、九、十各月ノ増水期ニ流下スルヲ以テ之亦發電用水量ニハ殆ト關係ナシ、許可水力地點ハ三アリ内工事中一、工事未着手ニ

赤柴川流量表 平均ニハ大正十一年ヲ含マス

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量									
					年次	最大	平水	低水	湍水	最小	最大	平水	低水	湍水	最小			
六二	一	赤柴川	岩手縣下閉伊郡栗橋村 栗林澤田	七四九	大正八年 九七七	大正九年 二五四〇〇	大正十年 七二八〇	大正十一年 一七二〇〇	平均 一七二〇〇	一三三	一〇二	七三	六〇	一三三	一三五	一〇二	七三	六〇

地點ナリ

四、水力地點 水力利用範圍ハ字太田林ヨリ字澤田ニ至

赤柴川水力地點表

ル約二里ノ間ナレトモ下流部ハ許可地點ニ屬セリ

順位	河川	番地	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	取水長路	面積	發電率	年平均馬力數	等級
三〇	赤柴川	一	岩手縣上閉伊郡栗橋村 橋野太田林	同郡栗橋村	湯水 五九 低水 一〇〇 平水 一三六	一〇二	一、一三三 一、五四〇	一四〇〇	六・五	一〇〇〇 九三八	一〇〇 一〇四	甲

水力地點ノ説明

順位二二〇 本地點ハ字太田林ニ於テ河川ヲ横斷シ堰堤ヲ設ケ左岸ニ取入レ殆ト全部開渠ニヨリ飢ニ導水シ發電ス

第九節 大渡川水系

一、流域 本川ハ岩手縣上閉伊郡ノ東南部ニアリ源ヲ雌岳(二六〇米)岩倉山(一〇五九米)等ノ諸溪谷ニ發シ東南ニ向ヒ字大松ニ於テ愛染山、五葉山ヨリ來ル小澤ヲ容レ方向

ヲ東ニ轉シ下小川ニテ岩倉山、仙磐山ヨリ發源スル小川川ヲ合セ尙東流シ釜石港ニ至リテ太平洋ニ注ク其ノ流域ハ甲子村釜石町ノ全部ヲ占メ面積八七方里アリ地形略長方形ヲナシ地勢ハ西ヨリ東ニ向ツテ傾斜シ峻峻ナル山地ヲナス。地質ハ大部分秩父古生層ニ屬スレトモ上流部ニハ少許ノ玢岩花崗岩アリ又小川川流域及小川附近ニハ閃綠岩ヲ見ル

流域内林野狀態ハ農耕地〇・八割、山林地九・二割ニシテ山林ノ大部分ハ民有林ニ屬シ全林ノ八割七分ヲ占ム國有林ハ小川川流域字日向ノ上流一圓ノ地ニ存シ草生地其ノ三分ノ一ヲ占メ外ニ僅少ノ針葉樹林地ヲ有スルモ他ハ林齡五〇年内外ノ潤葉樹ノ密林ニシテ林況良好ナリ。民有林ハ大橋ヨリ上流ハ四〇年内外ノ潤葉樹密生繁茂シ本流域中ノ良林タリ又大橋ヨリ下流ニハ五葉山頂ヨリ中腹部ニ亘リ壯齡樹ノ一團地ヲナセル針葉樹ノ美林アリ其ノ他ハ多クハ二〇年内外ノ雜木粗林ニシテ所々ニ針葉樹ノ塊狀林又ハ點生林ヲ見ル、流域内ニ比較的草生地多キハ亂伐其ノ一因タリト雖附近ハ畜産地タル關係上放牧採草ノ盛ニ行ハルルコトモ亦其ノ一因ヲナス。國有林、民有林ノ樹種ハ檜栗椎等最多少許ノ杉、松ヲ交フ。人工植栽トシテ見

ルヘキモノハ殆トナク其ノ面積國有、民有ヲ通シ〇・四方里ニ達セス一般ニ森林狀態良好ト稱シ難シ
流域内ノ降水量ハ本川上流甲子及下流釜石ニ於ケル調査ニ見レハ大正八、九、二箇年平均年量何レモ二、二六〇耗内外ニシテ雨量ノ最多キ月ハ九月ニシテ三百八十九耗ヲ算シ最少キハ二月ニシテ甲子ニテ七〇耗釜石ニテ一〇三耗ヲ測レリ日最多量ハ甲子ノ十月一六五耗釜石ノ同月二一〇耗ニシテ降水日數ハ甲子ノ一六五日釜石ノ一五〇日ナリ而シテ月別最多日數ハ共ニ九月ノ一九日ニテ最少キハ甲子ノ一日(五月)釜石ノ八日(二月)ナリトス

二、河川狀況 本川ハ一般ニ曲折ニ乏シク流路單調ニシテ大橋ヨリ上流ハ山勢盛マリ河幅狹ク大小ノ玉石河床ヲ埋ムレトモ大橋ヨリ坪内ニ至ル間ノ左岸ハ少シク開ケ耕地ヲ存シ右岸ハ多ク山地ニ接シ河床ハ徑四、五寸乃至一尺ノ玉石ヨリ成ル之ヨリ下流ハ河幅頓ニ増大シテ廣キハ二、百間ニ及ヒ河床ニハ砂礫堆積シ流路ノ變化頻々タリ。勾配ハ大橋大松間三・九分ノ一、大松大畑間六・九分ノ一、大畑ヨリ小川ニ至ル間九・四分ノ一、ソレヨリ以下河口マテハ三・三分ノ一ナリ。本川ニハ測水所ノ設ナキモ流量ノ變化狀況ハ赤柴川ト大差ナカラシ

三、水利及治水 本川大畑上流ニハ灌溉用水路ナク流水モ其ノ數殆ト數フルニ足ラス、漁業モ鈴子ニ於テ秋季ヨリ冬季ニ亘リ鮭漁ノ行ハルル外特筆スヘキモノナシ

許可地點ハ盛岡電氣工業株式會社企畫ノモノ一アレ共

甲子川水力地點表

水量、落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	巨水路	面流域	能發電	馬力平均	年等
三二	甲子川	番外一	岩手縣上閉伊郡甲子村砂子渡	同郡甲子村	湍水 * 二七 低水 * 四六 平水 * 六三	* 一六二	四八六 八二七 一、一三三	二五〇	二八九	九六八 七九二	四八六	甲

水力地點ノ説明

順位二二一 本地點ハ本川筋字砂子渡右岸ニ取入レ隧道及開渠エヨリテ字臺ニ導キ放水ス

第十節 今泉川水系

一、流域 今泉川ハ岩手縣海岸部有數ノ河川ニシテ氣仙郡ノ中央部ヲ南流ス。本川ハ上流部ヲ有住川ト稱シ源ヲ北境土倉峠七九三米附近ニ發シ中峠ニテ愛染山、五葉山ヨリ流下シ來ル諸溪流ヲ合セ西走シテ八日町ニ至リ之ヨリ流路ヲ西南ニ變シ川口ニテ大股川ヲ合シ今泉川トナル。

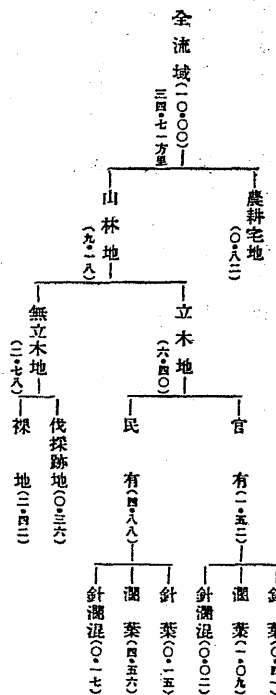
大股川ハ西境物見山八七一米ニ發シ東南流シ落合ニテ右支篠倉澤ヲ容レ迂餘曲折東走シテ川口ニ至リ有住川ニ注ク。大股川ヲ容レタル本流ハ東流スルコト約一里世田米ニテ流路ヲ南ニ轉シ流下スルコト約四里宇越戸内附近ニテ右支矢作川ヲ容ル。矢作川ハ源ヲ生出山七七四米蛇山ノ連峯ニ發シ東南ニ流レ山崎ニ至リ東流二里餘ニシテ本流ニ合ス、本流ハ之ヨリ尙流下一里餘今泉町ノ東側ヲ過リテ廣田灣ニ注ク。其ノ流域ハ氣仙郡上有住、下有住、世田米、横田、矢作竹駒ノ各村及高田町ノ全部米崎村ノ大部及氣仙村ノ一部ヲ占メ總面積約三五方里アリ、流域内山嶽重疊シ

山勢急峻ニシテ河川ハ概テ峡谷狀ヲナセトモ大體ノ地勢ハ北ヨリ南ニ向ツテ低下セリ

流域内地質ハ大部分秩父古生層ヨリ成レトモ本流筋世田米村字川口ヨリ河口ニ至ル左岸、大股川左岸及矢作川合流點附近ニハ花崗岩露出ス

今泉川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ

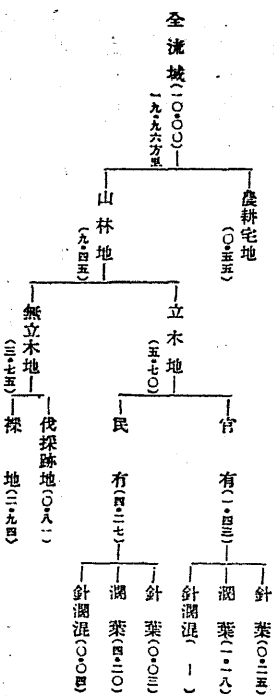


林野ノ分布ヲ見ルニ山林地ハ全流域ノ大部分ヲ占メ之ニ國有林、縣有林及民有林アリ、國有林ハ今泉川本流ニアリ

テハ五葉山小松峠、八日町、奥火ノ土及右岸叶倉山、大平山ノ諸處ニ繁茂スル外下流二三地ニ散在シ大股川流域ニハ南岸ノ鷹巢山、北岸ノ大日山外數箇所ニ分布シ又矢作川ニハ下流部南岸ノ二三地ニ點在シ、上流生出山ニハ縣有南部模

今泉川流域林野狀態一覽表

括弧内ノ數字ハ全流域ニ對スル面積ノ割合ナリ



範林アリ是等ノ諸林ハ山毛櫨、檜ノ潤葉樹ヲ主トシ之ニ「イタヤ」、「セン」、栗、樺及僅少ノ杉、松ヲ混ヘ樹齡五〇年以上百七八十年ニ達シ密林ヲナス人工植栽ハ杉、赤松、檜等ヲ主トシ一部樺、栗、朴ヲ加ヘ各所ニ施業セラレ發育良好ナリ。民有林ハ殆ト伐採シ盡サレ古木ノ殘存セルハ奥部ノ小面積ニ過キス又上流ヨリ下流ニ至ルニ從ヒテ林相漸次粗惡トナリ殊ニ本流筋ハ馬産地ナルヲ以テ雜草地比較的多シ樹種ハ國有林ト大差ナク人工植栽モ各所ニ行ハレ造林後、日尙淺キモ生育狀態良好ナリ

本川流域内ニ於ケル降水量ハ上流上有住ニ於ケル大正八、九十、三箇年ノ平均年量一、四九〇耗大股川筋大股ニテ一、五五〇耗ナリ雨量ノ最多キ月ハ共ニ九月ニシテ其ノ月量

大股ハ三一五耗上有住二七二耗ナリ日最多量ハ大股ハ一〇〇耗上有住ハ八〇耗内外ヲ算セリ又降水日數ハ大股一八一日上有住一九八日ニシテ月最少日數ハ共ニ二月ニシテ僅ニ十二三日ナリ。氣温ハ年平均一〇度内外ナルカ月最高ハ七八月ノ候ニシテ二三四度ヲ上下シ日最高三六度ニ昇リ最低ハ二月ニシテ(一)一度ヲ示シ日最低ハ同月ニ生シ(一)一七度ニ下レリ。蒸發量ハ年量三六〇耗ヨリ三九〇耗ノ間ニアリ

二河川狀況 本流ノ上流タル有住川ハ勾配緩ニシテ屈曲ニ乏シク兩岸少シク開ケ耕地ヲ存スレトモ大股川ハ兩岸絶壁屏立シテ深峽ヲ形リ屈曲ニ富ム殊ニ落合ヨリ下流ハ勾配急ニシテ到ル處急湍激流ヲナス河床ハ兩川トモ玉石砂利ヨリ成レトモ古生岩盤亦處々ニ露出セリ兩川合流後ハ兩岸展開シ字小坪ニ至ル間勾配稍急ナレトモ夫ヨリ次第ニ緩流トナル。支流矢作川ハ水源高カラサルモ流程短ク河口ニ向ツテ直流スルヲ以テ相當勾配ヲ有シ河床ハ玉石又ハ砂礫ヲ主トシ所々ニ岩盤ヲ露出ス。河川勾配ハ本流ニテハ中埠八百町間九五分ノ一、八日町大股川落合間一〇七分ノ一、落合ヨリ小坪マテ一六五分ノ一、小坪河口間三六〇分ノ一ナリ支流大股川ニテハ落合小股間六五分ノ一

一、小股ヨリ川口マテ八〇分ノ一内外ニシテ矢作川ハ清水川ヨリ木戸口マテ四分ノ一、木戸口ニ又間六三分ノ一、二又梅木間九五分ノ一ニシテ同所ヨリ本流ノ合流點マテハ二〇〇分ノ一ナリ

本川ハ低水時及平水時ニ於テハ流水略整一ナレトモ濁水時ニ於テハ下流部ニ寄洲ヲ露ハス所アリ、荒蕪地及粗惡ナル林地多ク且山勢急峻ナルヲ以テ豪雨ニ際シテハ一時ニ水量ヲ増シ河水濁流ト變スル傾アルモ出水速ナルト共ニ減水亦速ナリ。水位及流量ノ變化ハ世田米測水所ノ定ニ依レハ變化最少キハ一二月及十二月ニシテ増減ノ著シキハ八、九、十月ノ出水期ニシテ四、五月ノ融雪期之ニ次ク。流量ノ最潤渴スルハ三月及六月、八月ノ候ニシテ一月、二月、七月之ニ次ク、流域一方里當渴水量ハ八九個ニシテ平水量ハ渴水量ノ一八倍最大流量ハ各年ニヨリテ異レトモ渴水量ノ四〇倍乃至八〇倍ノ間ニアリ

矢作川流量變化ノ狀況ハ今泉川ト大差ナカラシ

三、水利及治水 本流筋ニ於ケル灌漑及水車ノ用水ニハ凡テ溪流ノ水ヲ用フルヲ以テ水力利用ニハ關係ナク流木ハ春季及秋季ノ増水期ニ行ハレ用材、鐵道枕木、薪材等ヲ合七年數量一二〇〇〇石乃至一四〇〇〇石ニ達シ中埠以下

今泉川流量表 平均ニハ大正十一年ヲ含マス

順位	舊順位	河川	測水所	面積	流量				流域一方里當流量				
					年次	最大	平水	低水	渴水	最小	最大	平水	低水
六三	一	今泉川	岩手縣 氣仙郡 世田米村	一、九六六	大正八年 四、一八〇	一、三六六	一、〇四四	一、五五	一、四二	一、三三	一、〇一一	七、七	七、三
					大正九年 一、五、〇〇〇	四、四	三、〇一一	二、九	二、七	二、七	二、〇七	一、五、一	一、〇、一
					大正十年 六、七〇	二、九	二、四六	一、九	一、四	一、五〇	二、二	九、〇	九、〇
					平均 一、七〇〇〇	三、四	二、四	一、八〇	一、四	一、五〇	二、一	九、〇	七、二
					大正十一年 一、七〇〇〇	三、三	二、二	一、七	一、一	一、六	二、五	八、九	七、五

海はマラ行ハル、支流大股川ニテハ字大股落合ヨリ下流ニ行ハレ年數量七、八百石内外ヲ算ス。漁業ハ手釣又ハ網ニヨル。許可地點ニアリ一ハ目下工事中ナレトモ他ハ工事中未着手ナリ

今泉川水力地點表

順位(一)ヲ附セルハ許可地點ト關係アリ
水量、落差ニ*ヲ附セルハ概定數ナリ

順位	河川	番地點	取入口	放水口	水量	落差	馬力數	亘水路	面積	發電	年平均馬力數	等級
二三	上有住川	番外一	岩手縣 氣仙郡 上有住村 上有住 小松	同郡 上有住村 上有住 八日町	平水 三〇 低水 四二 渴水 五四	*一三四	四四六 六二五 八〇三	二、〇〇	三三三	一〇〇〇 九六三 八八三	四、六 六〇二 七〇九	乙
二三	有住川	番外二	岩手縣 氣仙郡 下有住村 下有住 畑	同郡 世田米村 竹原	平水 一三九 低水 一〇七 渴水 七六	*七一	五九九 八四三 一、〇九五	二、四〇〇	八五〇	一〇〇〇 九六三 八八三	五、九 八二二 九六七	甲

四水力地點 水力利用範圍ハ本流ニアリテハ中埠ヨリ小坪ニ至ル約六里半ノ間ニシテ落差約六百尺、支流大股川ニアリテハ落合ヨリ笹洞迄一里半弱此ノ間落差四百尺、矢作川ハ二又ヨリ梅木ニ至ル二八町ノ間落差約百尺ナリ

順位	河川	番地 號點	取 入 口	放 水 口	水 量	落 差	馬 力 數	亘水 長路	面流 積域	能發 率電	馬年 平均 力數	等 級
(三三四)	今泉川	一	岩手縣氣仙郡世田米村 大渡	同 郡 小横田村 坪村	湫水 一五七 低水 二二二 平水 二八七	一九〇	三、三一 四、六八二 六、〇五三	六四〇	一七五九	一〇〇〇 九六三 八八三	三三一 四五〇九 五三四五	甲
二二五	大股川	二	岩手縣氣仙郡世田米村 大股落合	同 郡 世田米村 笹洞	湫水 三〇 低水 四三 平水 五六	三八六	一、二八五 一、八四二 二、三九九	二六〇	三四二	一〇〇〇 九六三 八八三	一、二八五 一、七七四 二、二一八	甲
二二六	矢作川	番外四	岩手縣氣仙郡矢作村 二又	同 郡 梅矢作村 木村	湫水 * 四一 低水 * 五八 平水 * 七五	* 八〇	三六四 五一五 六六六	一六〇	四九九	一〇〇〇 九六三 八八三	三六四 四九六 五八八	乙

水力地點ノ説明

順位二二二 本地點ハ右岸字小松ニテ取入レ全部開渠

ニヨリ八日町ニ導水發電ス

順位二二三 本地點ハ左岸畑ニテ取入レ竹原ニ放水ス

順位二二四 本地點ハ大渡地内右岸ニ取入レ隧道及開

渠ニヨリ小坪ニ導キ放水スルモノトス本地點ハ氣仙水力

電氣株式會社許可地點ト關係アリ

順位二二五 本地點ハ支流大股川大股落合ニテ取入レ

左岸ヲ廻シ殆ト全部隧道ニヨリテ笹洞ニ導キ放水ス

順位二二六 本地點ハ二又ニテ取入レ左岸ヲ廻シ梅木

ニ導キ放水スルモノトス

第七章 北上川水系

第一節 概説

本水系ハ東北第一ノ大河ニシテ源ヲ陸中國ノ北境ナル

七時雨山(一、〇六〇)米中山峠ノ連峯ニ發シ北上山脈及中央

脊梁山脈ノ間ヲ南流シ陸前國ニ入り石ノ巻ニ於テ太平洋

ニ注ク。支派川流入ノ概況ヲ述フレハ本川ハ先ツ沼宮内